

令和2年度 はあと平針事業報告書

1. 事業概要

障害者総合支援法のもと、利用者に対して通所によるサービス提供を原則とし、個々のニーズや障害特性に応じた個別支援プログラムを作成し、各種余暇活動や生産活動の取り組みを通じ日々の生活リズムの安定を図り、心身の健康を維持し生きがいを見つけていけるような支援を目指した。また、新型コロナウイルス感染症の流行に対しては、利用者が安全に過ごせるよう予防対策を講じるとともに、業務継続計画を策定した。

2. 事業所運営

1) 施設整備・設備

- ・ 公用車にドライブレコーダーを設置した
- ・ 電気温水器を設置した。

2) 職員構成

(令和3年3月31日 現在)

所長 (みーる平針管理者兼務)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	嘱託医	看護師	計
(1)	1	6 (3)	1	(1)	(1)	8 (6)

※ () 内は、非常勤職員の外数である。

3) 会議

会議名	内容	運営方法	構成
法人運営会議	・各事業所の情報の共有化と、法人運営課題についての議論を目的とした会議を行った。	毎月1回	理事長 常務理事 各事業所の管理者
職員会議	・次月の業務及び支援・運営全般について連絡協議した。	毎月1回	はあと 全職員
支援会議	・支援全般に関することについて協議した。	必要に応じ行った。	はあと 支援員
ケース会議	・利用者の支援上の諸問題（緊急対応）に対する検討を行なった。	毎日の打ち合わせ時に必要に応じ行った。	はあと 全職員
	・半期のモニタリングを行った。 ・半期のモニタリングを行った。	毎年8月 毎年2月	

4) 職員研修

直接(間接)処遇職員に対し、それぞれの職務遂行に必要な知識・技術を習得するために、福祉関係団体の主催する研修に積極的に参加した。

「福祉関係団体主催の研修参加実績」については、下記の通りである。

月	参加者	研修名	主催	場所
6	サビ管	【7つの習慣】活用手法公開セミナー	(株)FCEトレーニングカンパニー	Zoom
7	支援員	社会人としてのマナー研修	名古屋市社会福祉協議会	東区
	サビ管	管理者研修	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
8	サビ管	福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知	日本福祉大学	Zoom
	支援員	強度行動障害者支援者養成研修(実践)	社会福祉法人よつ葉の会	西区
9	支援員	初任者研修	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
	支援員	発達障害研修	名古屋市社会福祉協議会	東区
	支援員	福祉専門職としての接遇研修	名古屋市社会福祉協議会	Zoom
	支援員	権利擁護研修	名古屋市社会福祉協議会	Zoom
10	支援員	新任職員基礎研修	名古屋市社会福祉協議会	北区
	サビ管	管理者・サビ管合同実践発表研修	名古屋市	Zoom
	支援員	中堅者研修	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
11	サビ管	民事信託・ホームロイヤー セミナー	愛知県弁護士会	Zoom
12	サビ管	第58回東海地区知的障害関係施設長等研究協議会	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
1	支援員	苦情相談事業研修会	名古屋市社会福祉協議会	Zoom
	支援員	高齢知的障害者への支援に関する研修会	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
	サビ管	医療基礎知識研修(障害)	名古屋市社会福祉協議会	Zoom
	事務員	新型コロナウイルス対策webセミナー	名古屋市社会福祉協議会	Zoom
2	サビ管	権利擁護研修会	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
	支援員	アンガーマネジメント入門講座	瑞穂・天白保健センター	Zoom
	支援員	サービス管理責任者更新研修	愛知県	Zoom
3	サビ管	第2回福祉・介護の職場環境改善研修	愛知県社会福祉協議会	Zoom
	サビ管	サビ管・相談支援専門員連携研修	愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
	支援員	令和2年度東海地区・愛知県共催研修	日本・愛知県知的障害者福祉協会	Zoom
	支援員	リスクマネジメント研修	名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会	Zoom

5) 年間行事

実施日	行事名	内容
4月2日(木) 4月6日(月)	花見	はあと平針の駐車スペースを使用して2日に分けて行った。今年度は桜が見ごろで天候にも恵まれた。普段と違った環境でゆったりとしながらお菓子を食べたりジュースを飲んだりしながら過ごした。(参加利用者32名)
5月～6月	小グループ社会見学	新型コロナウイルスを考慮し中止。
6月18日(木)	ボール遊び大会 (フットベース交流会 代替行事)	新型コロナウイルスの影響で区内の事業所合同でのフットベース交流会は中止となった。そのため、以前より定期的に来ていただいている体操の先生と一緒に、換気や密にならないような人員配置をしたうえで、事業所内でボールあそび大会をおこなった。(参加利用者32名)
7月22日(水)	スイカ割・わらび餅 (流しそうめん大会 代替行事)	1階のテラスでスイカ割を行った。目隠しをしてスイカ割をしたが、全員で楽しく取り組む事ができた。その他にも手作りのわらび餅を提供した。(参加利用者30名)
8月	平針福祉会夏祭り	新型コロナウイルスを考慮し中止。
10月23日(金)	駅弁体験会 (日帰りバス旅行代替行事)	新型コロナウイルスを考慮し、日帰りバス旅行は中止とした。その代替行事として、事前に参加者から食べたい駅弁を聞いて予約し、当日の朝に職員が名古屋駅まで取りに行きその日の昼食とした。(参加利用者33名)
10月2日(金)	デイキャンプ	災害時を想定し、備蓄用食品を実際を使って炊き出しをおこなった。今年はチャーハンや餃子といった中華風のメニューにし、デザートは職員特製のチョコバナナとマシュマロを提供した。午後は、断水したという設定で水道を使用せずにペットボトルの水を使用してもらった。おおむね混乱もなく、ペットボトルの水を使用することができた。(参加利用者31名)
12月5日(土)	交流フェスティバル	新型コロナウイルスを考慮し中止。

12月25日(金)	クリスマスランチ会	<p>今年度は交流フェスティバルと合同で開催した。午前中に事業所内の飾り付けを行い、午後からビンゴ大会やサンタさんからクリスマスプレゼント配布を行った。利用者・職員ともに普段よりもオシャレな装いで参加し、様々な演出によりクリスマスの雰囲気を味わうことが出来た。昼食は豪華な弁当を味わい、おやつにはサンタさんのケーキを利用者・職員全員で食べた。(参加利用者29名)</p>
3月19日(金)	キッチンカー・駄菓子屋さん (梅見代替行事)	<p>新型コロナウイルスを考慮し、梅見を中止した。</p> <p>代替え行事として事業所でキッチンカー・駄菓子屋さんの行事を行った。</p> <p>キッチンカーに来てもらい、昼食にカレーライスと唐揚げを提供した。普段とは違った雰囲気で食事ができた。昼食後は食堂で職員手作りのたませんを提供した。たません提供後、テーブルに用意した駄菓子を選んでもらった。(参加利用者30名)</p>

6) 防火・防災管理

防火対策については、利用者の安全を最優先とし、避難体制と緊急時の役割分担を確認した。併せて利用者自身にも、防災訓練を通して避難方法の知識を伝えることで災害時での防災意識の高揚を図った。防災管理年間計画に基づく実施内容は、以下の通りである。

実施事項		内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備点検 ・備蓄非常食品 ・備品の点検 ・防災会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・新日本コーポレーション(株)による定期(総合)点検 ・備蓄品倉庫(2階出入り口)内の非常食品及び備品の点検、整理を実施 〈係にて実施〉 ・年間計画、AED・消火器の設置場所、緊急時対応個人カード、備蓄食品などの確認を行った。〈職員を対象〉
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災避難訓練(地震想定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前の活動時間帯に震度6強規模の地震が発生したと想定 ・「利用者の身を守る」を最優先とし、各作業室毎に対応行動訓練(対応行動援助)を実施、その他職員の任務対応行動について確認 〈利用者及び全職員を対象〉
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災避難訓練(火災想定) ・自主点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後の活動時間帯に出火(1階湯沸し室)を想定とした防火対応避難訓練(事前周知無し)通報(動作のみ)・伝達・初期消火・避難誘導・情報収集等の訓練を実施 〈利用者及び全職員を対象〉 ・自主点検表に基づき、係にて実施。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・建物自主点検(敷地内を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物に異常がないか確認を行った。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災避難訓練(地震想定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後の活動時間帯に震度6強規模の地震が発生したと想定 ・「利用者の身を守る」を最優先とし、各作業室毎に対応行動訓練(対応行動援助)を実施、その他職員の任務対応行動について確認 〈利用者及び全職員を対象〉 ・担当職員は、重要なデータの持ち出し訓練を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・非常持ち出し訓練 ・情報伝達訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市健康福祉局と連携し、伝達訓練を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関わる事項について確認を行った。災害時の事業所の対応についても、話し合い確認を行った。〈職員を対象〉
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・非常食の点検・補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・係にて点検・補充等を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・新日本コーポレーション(株)による定期(機器)点検

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・防火総合訓練 ・消火器取り扱い訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・「午後の活動時間帯の出火(1階湯沸し室)を想定とした防火対応避難訓練(事前周知あり)」 通報(動作のみ)・伝達・初期消火・避難誘導・情報収集等の訓練を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練終了後に引き続き、消防署職員立ち合いのもと消火器の取り扱い訓練を実施 <利用者及び全職員を対象>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災避難訓練(火災想定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前の活動時間帯に出火(1階湯沸し室)を想定とした防火対応避難訓練(事前周知無し) 通報(動作のみ)・伝達・初期消火・避難誘導・情報収集等の訓練を実施 <利用者及び全職員を対象>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検 	自主点検表に基づき、係にて実施

7) 健康管理

利用者の健康保持に留意し、月に一度、看護師による血圧測定・体重測定を実施した。また、年に2回簡易尿検査(6月・11月)を行なった。嘱託医(和合病院)による年2回の内科検診は新型コロナウイルスを考慮し、中止した。

3. 支援概要

利用者の人権と個性を尊重し、各利用者の障害程度や特性に応じた支援および援助を行うことで、地域社会における社会的自立を目指した。そのため利用者のニーズを受けて支援計画(個別支援プログラム)を作成し、生活習慣支援、日中活動支援という事業所の持つ支援機能を積極的に活用した。

生活習慣支援においては、様々な活動に参加しながら個々の持つADL(日常生活動作)能力の維持・向上を目指した。また、個々の心身の状況に応じた生活リズムを確保することで、事業所屋内外での活動にやりがいと楽しみを持つことができ、利用者一人ひとりがより落ち着いた状態で過ごせるような場面が増えた。

日中活動支援においては、生産活動面で更なる環境設定の充実を図ったことで、利用者の作業技術が向上し、多くの作業種において仕上げられる量が増えた。

新型コロナウイルス感染症対策として、密集を避けるため、朝の会や帰りの会はグループごとに別室で実施し、昼食についてはグループ別に時間差で食堂を利用した。

1) 日課

8:30	9:00～ 9:30	9:30～ 10:30	10:45～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:15	14:30～ 15:30	15:30～ 16:00
職員朝礼	朝のラジオ体操会	活動①(休憩)	活動②	昼食(休憩)	活動③(休憩)	活動④	清掃の会

2) 各種活動支援

以下に挙げる各種活動を利用者個々が選択し、週間プログラムとして実施することで、一人ひとりの趣味趣向を確認したり、持っている社会生活能力等を引き出したりすることをめざした。様々な活動を通じて、多角的に利用者個々を見つめることで多くの発見があった。それを踏まえて情報交換することで、各家庭との連携もより密に取ることができた。

○音楽活動

カラオケ・音楽鑑賞を行った。

音楽に合わせて歌を歌ったり、手拍子でリズムをとったりして楽しんだ。曲は様々なジャンルや年代から選び、利用者個々が好きな音楽を見つけ、それぞれの形で楽しさを表現しながら時間を過ごすことができた。

○創作活動

自由画、折り紙、塗り絵、ジグソーパズル、ブロック、さしこの活動を行った。活動では各自、内容を選んでもらい取り組んでもらった。ゆったりとした雰囲気の中で取り組むことができていた。

また、今年度も外部講師を招いての「パンフラワー」に取り組んだ。概ね週に1回のペースで、完成まで5~6回程度の回数を重ねて個々に1つの作品を作り上げた。今年度は8つの作品を作成した。

○園芸活動

季節の野菜や花を植えて、日々の水やり、土の入れ替え、追肥、収穫などを行った。また、花の寄せ植えも行おこなった。活動を通して植物を育てることへの興味が湧き、楽しみにしている様子も見られた。外部講師によるフラワーアレンジメントについては、新型コロナウイルスの影響を考慮して中止とした。

○クッキング活動

食材の確認と調理工程の説明をし、安全面や衛生面に配慮しつつ、一人ひとりができる範囲で調理に参加できるように支援した。調理後は皆で食事を楽しみ、食後には後片付けや清掃（テーブル拭き・床掃除など）にも取り組んだ。また、清掃後に次のメニューを決める時間も設けた。活動を通して調理して食べる楽しさを経験してもらうことができた。

○ドライブ活動

公用車を使用し、主に天白区近郊（片道20~30分程度）の公園などへ出かけ休憩や水分補給を行った。

行先は利用者の希望を取り入れ、毎回コースを変えながら取り組んだ。道中では会話や景色を楽しみながら、利用者それぞれに楽しめている様子が伺えた。

○ウォーキング活動

健康維持の為、小グループによるウォーキングを行った。利用者のペースに合わせて歩行を行った。周りの状況を確認し、トラブルにならないよう取り組んだ。夏季は、お茶を用意することで脱水症状にならないように配慮した。各利用者楽しんでウォーキングに参加することができていた。

○軽スポーツ活動

ダンス・ボール遊び・鬼ごっこなど楽しく簡単に体を動かすことを中心に取り組んだ。グループによっては公用車を利用し、近くの公園に行き、遊具やウォーキングなど行い活動に飽きないよう工夫をした。今年度も引き続き外部講師を招いて、ストレッチなどを中心に行っていた。今年度から月2回行った。

運動を楽しめるように各利用者のペースや能力に合わせて、取り組む内容を工夫した。活動の際に丁寧に説明を行う事で活動への理解が深まるよう努めた。

○生産活動

従来の生産性重視の作業活動から機能訓練等に視点を移した作業活動にすることを目的としている。その上で個々の個別支援計画に反映させ、利用者自身が積極的に取り組めるよう支援した。

具体的には、作業活動の分析と作業工程の見直しを常に行いながら、個々の作業適性に応じた作業種を提供し、更により作業しやすい環境設定に努め、作業能力の維持・向上をめざした。達成感を感じてもらうことで、働くことへの意欲も高めることができた。

※ 平均工賃・・・2, 417円/月（前年度 3, 017円/月）

・箸の袋詰め作業

（株）美濃屋より、毎週木曜日に納品・受注を受けてきた。作業内容としては箸を箸袋にいれビニール袋にいれ点検し完成させたものを納品した。受注数にはバラつきがあり、多い週は33, 000本の受注があった。少ない週では3, 000本の受注だった。受注した商品については問題なく納品することができていた。

・ガス部品組付け作業

（株）エフワイ成型より受注してきた、シャフトの金具付け、バネ付け点検、箱詰め作業を中心に取り組んだ。受注量は週に2,000～5,000個程度の受注量だった。週により作業量の増減はあったが、年間通して安定した作業量を確保できた。

・ゴミ袋セット（粗品）作り作業

近隣の諸団体（学区の連絡協議会など）から注文をいただいた。新規の注文も入り、先方と調整しながら作業を進めた。折り方をなるべく簡素化してわかりやすくすることで、束づくりの工程に関われる利用者が増やせるよう工夫した。「クリスタルパック」への袋入れ作業やラベル入れの作業にも積極的に参加を促した。

・自動車部品作業

ヤマテックよりプラスチックの作業を受注した。コロナの影響も少なく安定した量の受注があった。毎日の納品と受注がある中で利用者・支援員で取り組むことで多くの人に関わることができた。

作業種や作業量を先方と調整を行いながら、利用者への定着を図った。取引先との連絡・調整は密に行うようにした。

○その他

毎月の工賃支給日の午後に購入したお菓子・ジュース等を全員で飲食しながら、日々の労をねぎらうティータイムを行った。会の準備・片付けは、利用者も交えながら行った。また令和2年度のティータイムは、8月にかき氷会、12月に焼き芋会、2月に豚汁会を開き、日々の活動参加意欲の更なる向上にもつなげていくことができた。

4. その他の諸活動について

1) 事業所体験・相談援助実習・教育実習・施設見学の受け入れ

① 事業所体験実習

在宅または就学中の障害者を対象に、生活介護事業所での体験を通じて学校卒業後の日中の過ごし方について体験的な機会を提供した。また必要に応じ、働くことへの自覚と意欲を確認する機会として、授産所時代から培ってきた作業訓練機能を活かした取り組みも行った。併せて実習期間を2日～5日に設定し、より正確な実習報告書を作成することで、今後の日中生活支援の参考資料とした。

受け入れ状況としては、年度計画に沿って計画的に受け入れながら、その他個人のニーズによる実習依頼についても随時受け入れをすることができた。

天白養護学校	2名	男性 2名	女性 0名
南養護学校	1名	男性 1名	女性 0名

② 相談援助実習

大学や専門学校等で「社会福祉士」の資格取得のために、ソーシャルワークの価値・知識・技術について、学生自身が、講義やスクーリング学習を統合化し実践力を身につける貴重な機会として、現場実習を行った。

日本福祉大学中央福祉専門学校	2名	ソーシャルワーク実習
----------------	----	------------

③ 教育実習

例年であれば、愛知教育大学の教員免許特例法による介護等体験や平針中学校の生涯学習教育等があるが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり実施されなかった。

④ 施設見学

障害者本人をはじめ、当事業所を見学希望される方を積極的に受け入れた。限られた時間ながらも、地域の様々な立場の人たちが障害者福祉の分野に関心を持ち、地域社会における施設の役割を理解いただく機会を提供できた。

(当事者本人)

天白養護学校	1名	男性 1名	女性 0名
--------	----	-------	-------

(保護者)

天白養護学校	2名	男性 0名	女性 2名
南養護学校	3名	男性 0名	女性 3名
在宅（他事業所利用中）	1名	男性 0名	女性 1名

2) ボランティアの受け入れ

利用者の幅広い対人関係の育成と、余暇・生産活動の充実をねらいとしたボランティアの要請及び受け入れを毎年行っていたが、今年度は新型コロナウイルスを考慮して受け入れを中止した。

3) 広報活動

法人ホームページや、生活介護事業所の紹介パンフレットの作成を通じて、地域社会に広く当事業所の理念を伝えていくことをめざした。また、ふれ愛ネット天白や天白区障害者自立支援協議会等、地域住民や福祉関連団体との交流の場にも積極的に参加し、同地域におけるネットワーク作りに取り組み、更に交流の輪を広げることができた。

また、季刊報「はあと通信」を年4回発刊し、利用者をはじめとして、当事業所と協力関係にある学校、福祉事業所、作業関連の事業所などに配布し、広報活動を推し進めた。当事業所における生活介護事業所としての取り組み、行事・活動内容を中心に構成し、わかりやすい紙面作りに努めた。また、利用者の健康管理に関する事や防災関連の情報提供の場としても機能させるようにした。

5. 利用者状況

1) 入退所 (定員 40 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
利用者数 (月末)	36	36	35	35	35	35	34	34	34	34	34	36
利用実績	24.6	25.0	28.9	27.9	26.8	28.7	29.7	29.3	28.8	28.1	27.7	29.6

* 利用実績の年間平均出席人数は、28.0名である。

* 開所日数：241日 利用率：77.7%である。

2) 年齢別

(令和3年3月31日現在)

年齢 性別	年齢								計	平均年齢
	~20	21~ 25	26~ 30	31~ 35	36~ 40	41~ 45	46~ 50	51~		
男性	4	3	0	3	7	2	5	1	25	35.6
女性	0	5	0	0	1	1	0	4	11	41.7
計	4	8	0	3	8	3	5	5	36	37.4

* 最高年齢は80歳(女性)、最低年齢は18歳(男性)である。

3) 障害別 ※ 36名中、重複障害者は23名。

(令和3年3月31日現在)

障害 性別	障害				
	知的障害	ダウン症	自閉症	てんかん	その他
男性	25	2	13	5	4
女性	11	0	2	2	2
計	36	2	15	7	6

4) 通所期間別

(令和3年3月31日現在)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～7年 未満	7～10年 未満	10年以上	計
男性	2	3	3	3	2	12	25
女性	0	0	5	2	2	2	11
計	2	3	8	5	4	14	36

※入所平均期間は11.0年、最高期間は29年である。

5) 障害支援区分別

(令和3年3月31日現在)

区分 性別	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	計
男性	0	4	5	7	9	0	25
女性	0	2	3	5	1	0	11
計	0	6	8	12	10	0	36